みやざき

JC NEWS 2026 SUMMER MIYAZAKI

Vol.682



ASPAC新潟大会JAPANナイトにて、
宮崎JCブースに加藤会頭が来られました！

contents ▶▶▶

2026 宮崎JC SPRING
春季事業報告

教導育成事業
第19回わんぱく相撲宮崎大会/JCフェスタ
ASPAC2026/ひなた中学校教育支援事業/真剣教師しゃべり場

JCI Miyazaki

75th 2026 Miyazaki

The 75th Anniversary of the JCI Miyazaki

■企画・編集・発行
JC News Miyazaki / Vol.682 2026 SUMMER
一般社団法人宮崎青年会議所　ブランディング委員会

〒880-0865 宮崎市松山1-12-7大春ビル3F　TEL:0985-28-2522 FAX:0985-28-2466

2026 SPRING

春季事業報告

MIYAZAKI JC SPRING

01 教導育成事業





教導育成委員会では、メンバー一人ひとりが自身の現状と将来に向き合う機会を創出し、それぞれが明確な目的意識を持ってJC活動へ参画できる人財を増やすことを目的として、教導育成事業を実施いたしました。
4月には、各メンバーに自己分析シートを作成していただき、自身の価値観や目標、JC活動に求めるものを見つめ直す時間を設けました。自らと向き合うことで、活動に対する目的や目標を整理する機会となりました。
5月には、自己分析シートの内容をもとに複数のグループに分かれてグループワークを実施いたしました。異なる経験や価値観を持つメンバー同士が意見を交わし、互いに刺激を受けながら、自身の活動意義や目的意識をより深く考える機会となりました。
そして6月には、これまで培ってきた目的意識の解像度をさらに高めるため、自身が抱く目標や志について、自らの言葉で発信する弁論会を開催いたしました。参加者はスピーチを通じて、自身の想いを整理するとともに、他者の考えや志に触れることで新たな気づきを得ることができました。
JCに対する想いや活動へのモチベーションは、メンバーそれぞれ異なります。しかし、同じ組織に所属する以上、「自分は何のためにJC活動を行うのか」という問いに向き合い、その答えを持って行動することが、活動の価値をより高めることにつながります。
本事業を通じて、多くのメンバーが自身の目的を見出し、その実現に向けた第一歩を踏み出すきっかけを得ることができました。今後は、本事業で生まれた意識の変化が実際の行動や成長へと結びついているかを検証しながら、引き続きメンバーの成長を見届けてまいります。

4 29 WED





02 第19回 わんぱく相撲宮崎大会

4月29日（水・祝）、ひなた武道館相撲場において、第19回わんぱく相撲宮崎大会が開催されました。
当日は126名の子どもたちにご参加いただき、多くの保護者や観客が見守る中、白熱した取組が繰り広げられました。今年は本物の土俵を使用して大会を開催し、参加した子どもたちにとって貴重な経験の場を提供することができました。
会場では熱い声援が飛び交い、相手に臆することなく果敢に立ち向かう姿や、最後まであきらめずに逆転勝利を収める姿、悔しさから涙を流す姿など、子どもたちが全力で挑戦する姿に、メンバー一同大きな感動と力をいただきました。また、礼節や挑戦する心、仲間を思いやる気持ちなど、子どもたちに多くの学びと貴重な経験をもたらす機会となりました。
本大会の開催にあたり、ご協力いただきました関係諸団体の皆様をはじめ、運営に携わっていただいたすべての皆様に心より感謝申しあげます。今後も地域の皆様と連携しながら、スポーツを通じて青少年の健全育成に取り組むとともに、スポーツの魅力向上と地域の活性化に努めます。

5 30 SAT — 5 31 SUN







宮崎ブロック協議会主催
JCフェスタin延岡!

03 JCフェスタin延岡

5月30日（土）、公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会主催による「JCフェスタin延岡」が延岡市にて開催されました。当日は、わんぱく相撲大会をはじめ、防災ブースやグルメブースなど、多彩なコンテンツが展開され、多くの来場者で賑わう見どころ満載のJCフェスタとなりました。また、大会式典には、多数のご来賓をはじめ、各地シニアクラブの先輩諸兄姉、県内各地会員会議所のメンバーにご参加いただきました。

メインフォーラムでは、「インバウンドで創るウェルビーイングな宮崎」をテーマに開催されました。日本全体でインバウンド需要が高まる一方、宮崎県は全国水準と比較して回復が遅れている現状を踏まえ、地域創生の実践者である東国原英夫氏を講師に迎え、宮崎県におけるインバウンドの重要性や今後の可能性についてご講演いただきました。

フォーラム終了後には、山下新天街アーケードにて大懇親会が開催され、卒業式を執り行うとともに、県内各LOMのメンバー同士が交流を深める貴重な機会となりました。

JCフェスタin延岡の運営・構築に携わられた宮崎ブロック協議会役員の皆様をはじめ、主管LOMである延岡青年会議所の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝申しあげます。

なお、次年度のJCフェスタは都城青年会議所が主管LOMを務め、都城の地において開催される予定です。

04 JCI ASPAC 2026 新潟大会

6 11 THU — 6 14 SUN

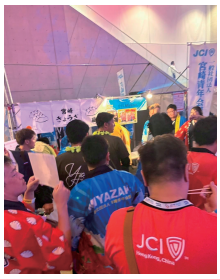


6月11日（木）から14日（日）にかけて、新潟県新潟市にてASPAC（アジア・太平洋地域会議）が開催されました。日本での開催は、2022年の大阪・堺高石大会（ハイブリッド開催）から4年ぶりとなり、完全な現地開催としては2018年の鹿児島大会以来、実に8年ぶりとなります。

宮崎JCからは山﨑理事長をはじめ32名が参加いたしました。各式典やフォーラムに加え、姉妹JCであるJCIマリーナ、JCIケソンシティキャピタル、JCIポートとのランチ会、各国ナイトへの参加など、非常に充実した4日間となりました。

昨年に引き続き今年もジャパンナイトにブースを出展し、株式会社屋台骨様の「宮崎餃子」と、雲海酒造株式会社様の「宮崎限定へべすハイボール」を約2,000名の方々に振る舞い、アジア各国のメンバーへ宮崎の魅力を存分に発信することができました。

今回は日本開催ということもあり多くのメンバーが参加できましたが、現地で得た感動や興奮、そして国際交流のすばらしさを宮崎に持ち帰り、参加できなかったメンバーともしっかりと共有し、今後の活動へ受け継いでまいります。









05 ひなた中学校教育支援事業

青少年育成委員会では、ひなた中学校（昼間部）のご協力のもと、2026年6月から9月にかけて「ひなた中学校教育支援事業」を実施いたします。本事業は、生徒たちが学校生活だけでは得ることのできない学びや体験を通じて、将来への夢や希望を育み、自らの可能性を広げることを目的としています。また、地域で活躍する大人との交流を通じて、多様な価値観や生き方に触れ、社会とのつながりを実感できる機会を提供します。事業は、6月9日（火）に実施した事前交流・合同昼食会からスタートし、その後、マネーリテラシー教育、キャリア教育、防犯・安全教育を順次実施します。各プログラムでは、JCメンバーが講師や交流相手となり、自身の経験や知識を共有することで、生徒たちが「働くこと」や「社会との関わり」について理解を深め、自らの将来を主体的に考えるきっかけづくりを行います。本事業は、単なる知識提供にとどまらず、地域の大人と青少年がつながることで、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える取り組みの一つとして行います。



06 真剣教師しゃべり場

地域課題解決委員会では、2026年6月から10月にかけて「真剣教師しゃべり場」を開催します。
本事業は、教員、民間企業（JCメンバー）、教員相談機関が一堂に会し、教育現場が抱える課題や悩みについて率直な意見交換を行う交流ディスカッション事業です。近年、若手教員を中心に業務負担や精神的負荷の増加が課題となっており、加えて地域とのつながりが希薄化している現状も見受けられます。
本事業では、学校・地域・企業がそれぞれの立場を越えて対話を重ねることで、教育現場への理解を深めるとともに、新たな支援の可能性を探ります。
また、教員同士だけでなく、地域で活動するJCメンバーや関係機関とのつながりを生み出すことで、教員が孤立することなく相談や協力ができる環境づくりを目指します。将来的には、地域と学校が協働しながら子どもたちの成長を支える持続可能な仕組みづくりにつなげていきます。

OBからのメッセージ

サボテン

～ 現役メンバーの皆さんへ ～

青年会議所で過ごす時間は、活動している最中よりも、少し離れてからその価値に気づくことが多いように思います。
現役メンバーとして活動していると、会議や事業の準備に追われ、目の前のことで精一杯になる日もあると思います。これから次年度に向けた準備も始まり、新たな役割を担う方、誰かを支える立場になる方、これまでとは違う関わり方をする方もいるかもしれません。不安を感じたり、「自分にできるだろうか」と迷ったりすることもあると思います。
それでも、そうした経験の一つひとつが、後から振り返った時に自分の財産になります。任されたことに向き合う中で、自分でも気づかなかった力や、仲間とのつながりが少しずつ育っていくはずです。
現役でいられる時間は、思っている以上に短いものです。無理に背伸びをしすぎる必要はありませんが、今しかできない経験を、仲間とともに大切に積み重ねていってください。

2026年度卒業生紹介

